博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目

科目コード：200001-0

看護科学と看護理論 Nursing Sciences and Nursing Theory

担当教員 石垣 和子、西村 真実子、浅見洋、川島和代、牧野智恵、村井 嘉子、濱 耕子

実務経験

開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		

Keywords

学習目的・目標 《学習目的》 看護理論の成り立ちとその活用・限界を学修する。具体的には以下の内容である。 1) 主な看護理論の内容と背景にある考え方を学修する。 2) 看護学固有の科学性とは何か、看護現象の科学的な捉え方、看護哲学と看護理論の結びつき、看護理論による看護現象の説明、看護研究における科学的手法等を学修する。 《学習目標》

討議に積極的に参加し、上記の内容を自らの看護実践や研究に還元できるように修得する。

授業計画・内容

回	内容	授業方法	担当
1	看護理論の基盤となる諸科学の概観	講義	石垣
2	中範囲理論と看護への活用	講義・討議	西村
3	大理論と看護への活用	講義・討議	西村
4	看護哲学と人間科学（1）	講義・討議	浅見
5	看護哲学と人間科学（2）	講義・討議	浅見
6	看護の発祥と理論（1）	講義・討議	川島
7	看護の発祥と理論（2）	講義・討議	川島
8	トラベルビーの人間関係論（1）	講義・討議	牧野
9	トラベルビーの人間関係論（2）	講義・討議	牧野
10	看護哲学と看護理論：ペナー（1）	講義・討議	村井
11	看護哲学と看護理論：ペナー（2）	講義・討議	村井
12	看護実践モデルと看護理論：オレム（1）	講義・討議	濱
13	看護実践モデルと看護理論：オレム（2）	講義・討議	濱
14	看護理論と看護学の科学としての将来	講義・討議	石垣
15	看護理論と看護学の科学としての将来	講義・討議	石垣

教科書 なし

参考図書等	看護理論家の業績と理論評価：筒井真由美 医学書院、2015 看護論（ペナー著）：医学書院 その他適宜紹介する。
評価指標	70%上の出席を全体条件とする。 レポート、討論の参加状況等により看護理論への理解度を判断する。7割の理解度にて合格とする。
関連科目	
教員から学生へのメッセージ	オムニバス形式ではあるが、それぞれの回をしっかりと学習し、最後には総合的な学びとなるよう討議に参加してください。